とっても発展の障 害になっています。

企業自身に

長の大きな障害と 経済のまともな成 いることが、日本

発行

内田たもつ ホームページ http//uchida-tamotsu.jimdo.com

日本共産党発行

日 刊●月3497円 日曜版●月 **930**円

根本に財界の目先の利益優先のゆがみ

界の要求に従 内部留保510兆円 て雇用破壊

え510兆円にも膨れ上がりました。 保はこの10年間でも180兆円近く増 ました。その一方で、大企業の内部留 正社員には長時間労働が押しつけられ で働く人を労働者を4割にまで広げ、 返され、低賃金で不安定な非正規雇用 に応えて、労働法制の規制緩和が繰り 先の利益拡大の経営に走る財界の要求 すすめられた雇用破壊の政治です。目 た最大の原因は、財界の要求に応じて 昇などで経済全体に還流しない構造が 保に滞留し、賃上げや下請け単価の上 大企業が利益を増やしても、内部留 賃金が上がらない国」にしてしまっ

000

日本共産党南知多支部

携帯

作られてしまって

連絡先

〒470-3321 南知多町

内海内塩田77-3 (南知多町議会議員) 内田 保 0569-62-1816

090-2776-7529

0%国産エネルギーである再生可能エ 発と石炭火力を推進する一方で、 輸入自由化と農業つぶしをすすめ、 ネルギーの開発・活用を後回しにして 「食料は外国から買えばいい」 10 原

ました。暮らしに希望がみえる日本経済に再生させるための 「日本共産党の経済再生プラン」から抜粋して紹介します。 消費税大増税 社会 員の削減社会保障費

という財界の主張をうのみにして、 受けました。「社会保障費の増大は企 り返されるたびに、 して強行されました。消費税増税が繰 の声、景気後退への大きな危惧を無視 層への減税・優遇税制を拡大する一方 支出も抑制・削減されてきました。 であるかのようにされ、教育への公的 美の利益を減らし経済成長を阻害する **大きく奪われ、経済と景気は大打撃を** 財界の要求に応えて、大企業・富裕 消費税大増税が、国民の強い反対 国民の実質所得が

食料自給率38%

財界・大企業の目先の利益が優先さ

共産党は9月29日に、貧困日本に対する経済政策を発表し 本にあるのが、財界の目先の利益優先の自公政治です。日本 30年におよぶ経済停滞・暮らしの困難をつくりだした根

①政治の責任で賃上げと待遇改善をす すめる―人間を大切にする働き方

③気候危機の打開、エネルギーと食料 ②消費税減税、社会保障充実、 す税・財政改革 負担軽減―暮らしを支え格差をただ 教育費

要なものであると同時に、長期にわたっ にしていく改革です。 的な問題を解決し、希望が見える日本 て暮らしと経済を悪化させてきた構造 国民の暮らしを支えるために緊急に必 日本共産党が提案する三つの改革は、 自給率向上―持続可能な経済社会

して、大企業も、 を促進します。 大企業の内部留保に時限的に課税 中小企業も賃上げ

されない仕組みとして促進します 賃上げ分を控除し、賃上げすれば課税 企業の賃上げを支援します。 大企業の内部留保課税にあたっては、

的課税で10兆円の財源をつくり、中小額に対して、毎年2%、5年間の時限

10年間に大企業が増やした内部留保

経済再生プ

まいました。 省エネと再エネによる気 頼る不安定な経済社会に落ち込んでし 食料とエネルギーを外国からの輸入に 候危機打開の取り組みも大きく立ち遅 川柳コ

暮らしと経済の基盤である

働

けど働けど楽にならざる庶民

国民が物価高騰で苦しむ裏で、

底上げをはかります。 男女の賃金格差を是正し、 賃金の

す共産党のまっとうな政策です。

企業には莫大な内部留保がたまりに の間優遇した法人税のおかげで、

たまっている。そこに期限をつけて、 少し税金をかけて、苦しむ国民に回

生涯賃金では1億円近くもの大きな男 46カ国中125位と世界でも圧倒的 女賃金格差があります な要因の一つに、年収で240万円、 に遅れた国になっています。その大き 日本のジェンダーギャップ指数は1

9年総会)と位置づけ、労働者の賃金 や権利、社会保護などのあらゆる労働 心はジェンダー平等である」(200 で解決すべきだとしています。 問題はジェンダー平等を促進する方向 セントワーク(人間らしい労働)の核 I L O (国際労働機関)は「ディー

○企業ごとの男女賃金格差の公開を徹 作成・公表し、その履行を国が指導・ 底するとともに、企業が是正計画 督励する仕組みをつくり賃金格差を

○同一価値労働同一 労働法で明文化します。 賃金、 均等待遇を

○間接差別を禁止し、 務に女性の比率が いて、是正措置を 高いことなどにつ 差別や低賃金の業 雇用形態による



とります